

5月22日(月)全校朝会のお話

先日6年生が、社会を明るくする作文という作文にチャレンジしました。

原稿用紙3枚以上書いて、頑張って取り組んでくれました。

みんなそれぞれ、自分でテーマを決めて、しっかりとした考えを持って書いていました。

その中で、私の心に留まった考えがあります。

それは、「もちあじって良いところばかりではないんじゃないかな」という考えです。

自分には、長所とってよいところもあるし、短所とってもっとこうなりたい、という、りょうほうがあるよね。長所ばかりをもちあじと捉えるのではなくて、長所も短所も全部含めてまるごと自分の、または、その人のもちあじだと思いませんか？私は、この考えに賛成です。

みなさんは、どうですか？

去年の2年生や3年生が、今の3年生と4年生ですね、お友だちのいいところのもちあじを伝えあっていました。ほかにもしていた学年があったかもしれないですね。

自分の良いところの持ち味を、風船をふくらませるように伸ばしていくと、自信にもなって、短所のもちあじもその人のいい「味」となっていくですよ。

今日は、「三方よし」ということばをみんなに伝えようと思います。

「三方よし」は、「自分よし」「相手よし」「みんなよし」という意味です。

みんなには、「三方よし」を目指してほしいと思います。

私は、みなさんが、自分やなかのよいお友だちだけでなく、まだ話したことがないお友だち、知らないお兄さん、お姉さん、自分より年下の男の子や女の子、いつもみんなを支えてくれる、用務員さんや給食従事員さん、いつも見守ってくれる地域の人たちなど、すべての人たちを仲の良いお友だちと同じように大切に子どもになってほしいと願っています。そういう子どもたちのいる学校を目指しています。

どうして、そういう学校を目指しているかというと、私たちは、仲の良い人たちばかりではなく、知らないところでいろんな知らない人たちとつながっているからです。おうちの人や学校の先生、知っている人だけではなく、多くの人のお陰で、今の自分、今みんながあるのですよ。

北丘小学校は、すべての人たちを大切に学校を目指しています。

だから、「三方よし」を考えられるみんなになってほしいと思います。そうしたら、つながっている一人ひとりが輝いてくると思います。